

第二次世界大戦はあつたがもしもい

朝鮮の動乱

不安

戦争はおこるかもしれない

南一。

原子バウガンはその南をふつとぼすのだ!!

と宣伝すれば民衆は戦争協力を

いと力をつけて思いつたら大団圓だ。

政治家の言うことはあるにならぬ

自分のついてくるように

民衆の錯覚をおうつてゐるのだ。

原子バウガンのにおいをおかいた日本人には

もう、そんなん力はない。

信じてることが出来るのは

第二次世界大戦はおこるかもしれない

これだけである。

マッカーサーは戦争がおこるの

中共の行動次第だと云うだろうし

中共はアメリカが日本の踏んだ

足あともたどつてゐるというだろう。

こんな言はば人間の錯覚をぶ以外の

何ものでもない。

戦争がおこるのはちほりあうくのまじりである。

あなたのが戦争協力と云う。

錯覚をおこしたとき

いけないと思ひながら

銭を困つて思つたとき

生活の苦しさに死にたいと

一途な持のおこるとき

若い青年が世に海にたゞよい

弾丸の血に胆力を感ぜるとき

そんなときは戦争は

おこるのだ。

(十一、九)

おれめようとするこのために

三年も、それは三年ものながい日月  
わたしは自分がかたしかに生きていて  
愛おしいのゆるがなしい心の持ち主であることと  
信じていたが

わたしの歩いてる石ころの草道は  
階下向が多くてわたしの足のうちにはまだ残った石の  
ふれなない抵抗力のなしい白さがあつた。

✓ そのためにわたしの心はみだれくるいはじめた。

✓ わたしはわたしの心のために女を求め

女はわたしの心の中にうろこりの海母であらわれるが  
わたしの心には不要なために

足を失い空中におどりをなからにけて去く。  
それを知るためにわたしはすばらしく海しくなったのだ。

✓ つかむべき、つかむべき、その女をつかむべき、  
そしてその女にあそびの唇をよこさよ。

とどこかで教つづけるものがある。  
その立身業はあまりに海しいかよわいものだ。

✓ せたくはーその女もよびつてー  
そのもの海しい立身業の中に流れている。

✓ あの女もこの女もあんなじように流れている。

あ、これならばこの女たちは  
わたしの心には関係のないものだ。

しかしわたしのまっすぐに石ころの草道には  
どうしてても女の心が必要なのだ。

✓ 音楽のなかを流れまく女たちから  
わたしの心のためにすくいとるとーたら

不要な女の肉体を

わたしがわたしの心のために求めるとしたら  
かたし何年にもすくいとるたがた流すにちがいない。

話々め女たちよ、許してくれ  
わたしは女を求めぬ。

✓ そのためにわたしの心はみだれくるいはじめた。

つかむべき、つかむべき、その女をつかむべき、  
そしてその女もあそびの唇をよこさよ。

とどこかで教つづけるものがある。  
その立身業はあまりに海しいかよわいものだ。